

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 12 月 17 日作成)

小委員会名	昼光に関する規準原案作成準備小委員会		主 査 名：古賀 靖子 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：古賀 靖子
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>昼光による建築空間を設計する際の、より具体的な数値指標をアカデミックスタンダードとして示す。</p> <p>2012 年度：前身の昼光に関する規準小委員会にて検討した目次案に従って、委員各自で執筆を進める。</p> <p>2013 年度：各委員が作成した原案の内容を精査し、WD を作成する。</p> <p>2014 年度：WD を完成し、企画刊行委員会への移行を検討する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：古賀靖子 (九州大学) 幹事：伊藤大輔 (ものづくり大学)、望月悦子 (千葉工業大学) 委員：井川憲男 (大阪市立大学)、岩田利枝 (東海大学)、上谷芳昭 (京都大学)、菊池卓郎 (竹中工務店)、筑紫一夫 (東京大学)、原直也 (関西大学)、吉澤望 (東京理科大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各委員に執筆頂いた原案に基づき、解説として記すべき内容、基準として定める内容を精査した。 2. 目次案を全体的に見直した。 3. 欧州、米国の昼光に関する規準制定の動向について情報を共有した。
委員会活動の問題点・課題	特になし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。
- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2013 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	WD は 8 割程度完成している。2014 年 10 月を目途に、執筆完了するよう作業を進めている。			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。